

神戸
市会議員

ひらの 平野たつじ

発行所

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 331-8181 会派直通内線 7060



神戸空港は、4月18日より国際線が就航(当初週40便から)

韓国(ソウル)・中国(上海・南京)・台湾(台北・台中)の4航空会社が定期便に近い形でチャーター便を就航。
すでに発表済み4航空会社を含む20航空会社(韓国・中国・台湾・モンゴル等)からも就航希望がある。



兵庫運河が「自然共生サイト」3月14日に環境大臣認定! 同時に国際データベースにも登録!

「自然共生サイト」の認定は、2023年12月に国連のCOP15(生物多様性条約第15回締約国会議)で採択された新たな世界目標である「30by30」(生物多様性のため2030年までに各国の陸と海の各々30%以上の面積を保全する世界目標)達成のための日本における取り組みの一環。

※1:自然共生サイト

環境省により、企業、団体、自治体等によって生物多様性の保全が図られている区域を認定する仕組みです。



兵庫運河あつまれ生き物の浜

中学校(兵庫区5校:夢野・湊山・兵庫・須佐野・吉田中学校)の センター方式の給食が2026年1月より開始予定

学校給食センターで調理した給食を配送する方式で、温かい給食を兵庫区の5つの中学校にて提供開始予定!(神戸市第二学校給食センターが2025年10月完成予定)



中学校給食

中学校の部活動の地域移行(コベカツ)が2026年9月より本格移行

活動団体の第1次募集で神戸市全体で620団体が応募

部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来にわたって子供達が主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することも目的に生徒が地域の方々と共に活動する内容です。



コベカツイメージ

病児保育の兵庫区設置を強く要望!!

神戸市は、政令市トップレベルの病児保育施設24施設を整備済みであるが、兵庫区は、未設置のため強く設置を要望。合わせて病児保育の空き状況と対応可能な病気の情報をWEB上で一覧にしたうえで、予約まで完結できるシステム構築を要望

祭りなどのぼりの設置に関わる条例改正を実現!

神社などが祭りの際、のぼりがガードレールなどに設置することが神戸市屋外広告物条例にふれ、違反。祭りを大切にしたい思いから、条例改正を神戸市へ要望し、実現!

湊川(パークタウン)にスタートアップ支援施設ができます

起業家を支援、地域経済の活性化に寄与するため、湊川エリア(パークタウン)に新たにインキュベーション施設が設置されます。

*インキュベーション施設とは、起業家やスタートアップ企業を支援するための施設。

神戸空港

神戸空港 国際化(2025年4月よりチャーター便開始) 2030年定期便就航に向けて
CIQ(税関 出入国管理 検疫)含めた国際ターミナル内のスタッフ、警備などの対応体制は、確保できているが、安全に運用をしていくために週40便からスタートする。

神戸から世界へ

BE KOBE

神戸から世界へ

BE KOBE



出発便			
	出発時刻	到着時刻	備考
ソウル	11:00	13:00	毎日
ソウル	18:30	20:40	毎日
南京	16:00	17:30	毎日
上海	19:00	20:30	毎日
台中	13:30	15:35	毎日
台北	11:00	13:00	火・木・日
台北	11:00	12:55	月・金
到着便			
	出発時刻	到着時刻	備考
ソウル	8:25	10:00	毎日
ソウル	15:50	17:30	毎日
南京	11:30	15:00	毎日
上海	14:30	18:00	毎日
台中	8:45	12:30	毎日
台北	6:20	10:00	火・木・日
台北	6:20	10:00	月・金



神戸空港国際チャーター便就航航空会社

国際チャーター便 4航空会社の航路とダイヤ

兵庫運河



世界銀行が兵庫運河を視察(約40名) 2024年11月13日

兵庫運河は、波が高い和田岬沖を避けて安全な船の運行のために、1899年明治32年に整備され、5つの運河で構成され、我が国最大の運河(6470m)で、明治三大土木遺産の一つでもあります。参考までに小樽運河は、全長1140mです。戦後は、貯木場として活躍したが、一方で運河の汚染が深刻になったことから、きれいな水辺によりみがえらせようと地域地元の方々が力を合わせ、(2013年設立の5団体からなる自然を再生プロジェクト)さらに兵庫運河の自然を再生するため、人工の干潟や砂浜が整備され、アマモの移植やアサリの保全、いきものの生育調査など様々な取り組みが行われたことで、水質は大きく改善し、多種多様な生物が生息しています。また、里海の持続を目指して環境学習の場としても利用されています。さらに、環境学習施設が令和7年度にできる予定です。昨年11月には世界銀行が兵庫運河を視察しました。

兵庫区の中学校 温かいセンター方式給食の開始について

令和3年に兵庫区5つの中学校給食については、給食センターを整備することとなり、令和4年1月12日に、学校給食センター整備計画(2箇所)を策定し、整備に向けた手続きを進めたが、兵庫区5校分については、北区藤原台での整備で予定していた。しかし地元の合意に時間がかかり、早期移行をはかるため建設予定地を西区に変更しました。神戸市第二学校給食センターとして(兵庫区5校、灘区5校、北区16校) 2025年10月完成を目指しています。給食センターで調理した温かい給食をそれぞれの学校に配送する方式で、兵庫区の5校の中学校では、来年1月から始まります。



神戸市第二学校給食センター完成イメージ

	開始年月	対象	提供方式
第1期: 10校 [2024年度2学期]	2024年9月	中央区6校 (生徒数2,131人)	民間調理施設方式 ・ウオクニ(株)
	2024年10月	中央区1校 須磨区3校 (生徒数1,140人)	親子調理方式
第2期: 19校 [2024年度3学期]	2025年1月	須磨区8校 垂水区11校 (生徒数8,371人)	給食センター方式 ・第一学校給食センター
第3期: 19校 [2025年度1学期]	2025年4月	長田区6校 西区13校 (生徒数7,939人)	民間調理施設方式 ・(株) グルメサービス ・(株) コープフーズ
第4期: 33校 [2025年度3学期]	2026年1月	東灘区7校 (生徒数4,291人)	民間調理施設方式 ・(株) 万福
		灘区5校 兵庫区5校 北区16校 (生徒数9,972人)	給食センター方式 ・第二学校給食センター

※生徒数は、2023年5月現在です。

中学校給食提供スケジュール

祭礼などの一時的に設置する広告物について条例改正を実現

・景観面における祭礼の歴史的・文化的意義を考慮

祭礼は、地域固有の歴史や文化が感じられる「ハレ(非日常)」の景観を作り出しています。したがって、一時的(1週間程度までの期間)に旗ざおを設置するような場合は、制限をするよりも、むしろなるべく広く認めていくことが望ましいといえます。

例えば、信号機や道路標識が見えなくなるような旗ざお等の設置は当然認められるものではありませんが、交通の安全と円滑を阻害しない範囲でガードレール等に設置するのであればこれを制限するまでの必要はないと考えます。

以上の事情を考慮し、条例第11条2項および3項を改正し、地域における祭礼等のため一時的に表示し、又は設置する広告物を、歩道の柵等の表示禁止物件に表示、設置できるようにします。

3. 施行予定

令和7年第1回定例会(2月議会)に条例改正議案を提出し、議決を得て令和7年4月施行予定

神戸市屋外広告物条例改正理由要旨



のぼり

改正前の条例は、祭礼時のぼりを掲げることは、可能であったが、設置可能場所(条例適用外)がなかったというチグハグな条例になっていた。地元の祭りの際に相談を受け、神戸市の条例内容や京都市など他都市も条例も確認。神戸市の条例が時代に合っていないことも併せて指摘。条例改正を実現

病児保育について

平野達司 指定都市トップレベルの24施設を整備しているが、いまだに兵庫区は未設置の状態。
子育て環境の地域格差を解消のために、兵庫区への新規整備を進めていきたい。



病児保育



予算特別委員会こども家庭局質疑20250310

中山こども家庭局長 病児保育事業は、医師会と連携し全て小児科医がいる医療機関併設型で実施。今年度も兵庫区の医療機関に対して開設を働きかけたが、協力いただける医療機関の確保に至っていない。令和7年度予算は、兵庫区での開設を含む新規整備2か所を計上、改めて兵庫区内の小児科医のいる医療機関に足を運び、粘り強く開設の働きかけを行い、未設置状況の解消に向けて取り組んでまいりたい。

平野達司 私も兵庫区医師会には、様々な場で直接要望を伝えている。あわせて兵庫区に小児科が、北東部(平野地区)、運南地区にない。そのために参入促進や事業継続を支援する補助制度の充実を求められる。令和7年度予算案では基本単価の引上げや複数の異なる感染症の児童受入れ施設の加算が新設されるが十分か、施設への補助含めお考えは?

中山こども家庭局長 病児保育は、感染症の流行やキャンセルが多く、運営が不安定になりやすく、特性上保育士の確保も難しい事業。国は令和3年度以降基本単価の引上げやキャンセル加算の新設など支援を強化しており、本市も独自の利用人数加算や保育士の処遇改善などの補助を行っている。
今後は、利用者を増やす広報や保育人材の確保の支援を進め兵庫区での開設も取り組んでまいりたい。

平野達司 兵庫区に病児保育ができるまで時間がかかる可能性も大きい。それまでの間の代替提案を是非検討いただきたい。例えば、ファミリーサポートの幼児保育版の導入。訪問型病児保育支援、またその利用料金の助成制度の導入など。併せて病児保育の空き状況と対応可能な病気の情報をWEB上で一覧にした上で予約まで完結できるシステム構築を検討いただきたい。

岩城こども家庭局副局長 まずは兵庫区を含む市内への新規整備と今ある施設の運営、利用しやすい環境整備にも取り組んでいきたい。また、予約システム等のさらなる改善も取り組んでいきたい。

産後ケア事業における利用者の利便性向上について

平野達司 産後ケア事業の利用者が急増し、今後も増加が見込まれる。しかし、市との連絡は「e-KOBE」施設の予約や空き状況の確認は個別に電話対応となっており、申請から予約・調整まで一元的なシステムの導入が必要ではないか

中山こども家庭局長 産後ケア事業は、母親の心身の回復や育児支援を目的とし、神戸市では全国平均(1割)を大きく上回る3割が利用し、高い満足度を得ている。利用者増加に伴い、利便性向上が求められており、電子申請の導入

や申請受付の前倒し、2回目以降は直接施設に申し込める仕組みを改善予定。しかし、施設の空き状況確認には電話対応が必要など課題もある。今後は、利用申請から空き状況確認まで一括で管理できるシステムの導入を、施設の意見を聞きながら検討していく。

他に児童館における英語学習や国際交流について、親が子育てについて学ぶ場所(親のコーチング)についても質疑いたしました。

中学校 部活動の地域移行 コベカツ

少子化による生徒数減少により部活動の種目減や、活動の選択肢が少なくなる傾向にあり、教員の働き方改革など様々な理由で部活動の現状は、以前と大きく変わっています。
生徒がより自由に「やりたいこと」を選べるよう、2026年9月に平日・休日ともに、「神戸の地域クラブ活動」=「KOBE◆KATSU(コベカツ)」へ移行します。地域の様々な方々と共に、校区を超えて多様な活動に参加できる仕組みです。経済的な事情や活動地域の偏りなど関わらず充実した活動ができるよう引き続き議論していきます。

コベカツ一次募集結果はこちら
コベカツHP

神戸市議員
平野達司(たつじ)
事務所

神戸市兵庫区東山町2丁目8-61マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com

平野たつじ HP

神戸市会の本会議、
委員会をインターネットにて
閲覧できます。

予算特別委員会 経済観光局審査 (2025年3月6日) より

中央卸売市場での青果物の集荷促進について

平野達司 中央卸売市場を取り巻く環境が変化、人口減少や取引の多様化による取扱量の減少、トラック輸送に関わる2024年問題の状況の中、(中央卸売市場は生産者から消費者をつなぐ流通の要) 活性化には、生産(農漁業)・流通(卸・卸売市場)・消費(小売市場・商店街・大型食料品店・宿泊施設・観光)を一体的に連携させる重要性を昨年に続き継続質疑



広域物流拠点施策(中央卸売市場)

課題

- 神戸卸売市場への安定した出荷手段が必要
- 物流の課題(2024年問題への不安)
- 高齢化による生産・出荷負担の軽減が必要



予算特別委員会経済観光局質疑 20250306

大畑経済観光局長

(来年度から以下を取り組む)

- 青果物の規格(サイズ・選別・色傷など)の簡素化→生産者の負担を減らし、生産拡大を促進
- 定期トラック便の運行 → 産地を巡回し、神戸中央卸売市場への安定的な物流の確保

まずは4tトラックで運行開始。市場全体の9万tに対しては小規模だが、安定した出荷先の確保と近隣産地の生産拡大につながる好循環を目指し進める。

平野達司 神戸での大型スーパー出店に対し中央卸売市場を介す取引量拡大のための働きかけについて

大畑経済観光局長 仲卸事業者に新規店舗出店情報を敏感に把握できることを呼びかけ取引につなげていく。新規出店事業者、新規開業、宿泊施設、スーパー、に具体的に訪問し、中央卸売市場の機能強みをPRし、新たな販売ルートに神戸中央卸売市場を経由した取引拡大に繋がる取り組みを行う

水産鮮魚卸売場の場内照明設備について

平野達司 本場水産卸売場の場内照明設備が水銀灯・蛍光灯・さらに消えていることもある。LED化を早期に実施すべき

中尾中央卸売市場本場長 水産鮮魚卸売場の照明LED化の必要性は市としても当然認識している

鮮魚卸売場の照明のLED化にあたっては、照度、色の指定、スイッチのゾーンを今年度より卸売事業者と協議を開始しており、令和7年の年度中には詳細な内容を決定したい、工事の概算金額を把握した上で必要な予算を確保し、早期のLED化を実現したい。

神戸市立中央卸売市場本場

1次産業について

平野達司 農業と比べ漁業に対する支援が手薄ではないか?

持続可能な漁業を推進するために、漁業の担い手確保や関係人口の増加に向けて市内外の周知、強化をすべきではないか?

樫野担当局長 市としては引き続き地域の漁業の情報発信に努め、新規漁業就業者への支援も国の制度が活用できるよう地元の漁業協同組合等と連携して取り組んでいきたい。

平野達司 是非地元で使えるようにお願いしたい。特に水産庁が様々な制度を用意しているが、実態のところは全漁連、県漁連がその補助を使っており地元がなかなか使えない。採択されてもなかなか継続的に使わせてもらえないことを現場で聞いている。水産庁の制度をうまく使える支援をお願いする。

ルミナリエの分散開催とヴィッセル神戸の提案について

平野達司 ルミナリエの分散開催の一環として、兵庫区・ノエピアスタジアムでの展示を提案。

大畑経済観光局長 ルミナリエは東遊園地や旧外国人居留地、メリケンパークなどで開催し、回遊性向上を図っている。ハーバーランドや新港町では地元事業者と連携し、イルミネーション事業を実施。今後も既存のライトアップイベントと協力し、PRや誘客を進めたい。兵庫区でも関連イベントがあれば積極的に連携

を検討する。

平野達司 ヴィッセル神戸から相談があり、同チームは震災の年に誕生し、鎮魂の意味でもルミナリエと関係が深い。コロナ禍でルミナリエが中止の可能性があった際、ノエピアスタジアムでイルミネーションを実施した経緯もある。スタジアムや御崎公園での開催は新たな可能性を生むため、課題はあるがヴィッセル神戸と協議を進めていただきたいと要望

スタートアップ企業を神戸に定着させるための取組について(2点)

平野達司 神戸のスタートアップを神戸に根付かせるために、スタートアップと地元企業との協業を促進するべき、また、神戸で人材育成(AI最先端の東大松尾研への人材派遣など)で他都市差別化をどのように図るのか

大畑経済観光局長 ① スタートアップの定着と企業連携

企業コラボの推進と新プログラムこれまでイノベーション創出(15社)、デザイン経営支援(36社)、オープンイノベーションマッチング(317社応募)などを実施し、着実に進展。

2024年からは「KOBE BUSINESS PROGRAM So-I」として事業を統合し、行政課

題の解決も含め、市内企業とスタートアップを一体的に支援。今後も協業を促進し、企業の高付加価値化とスタートアップの成長を支援する。

瀬合副局長 ② 神戸での高度デジタル人材育成

日本のデジタル人材は世界67か国中最下位とされ、育成が急務。神戸では神戸大学のシステム情報学部新設など最先端の教育を推進。さらに、シンガポール拠点の活用や企業との共同研究を通じて、グローバルに活躍できる人材を育成し、他都市との差別化を図る。

湊川(パークタウン)にスタートアップ支援施設ができます

神戸で生まれたスタートアップ企業をもっと増やすために市内企業などと協力して、新しいファンドを作り、神戸独自のスタートアップ支援を続けるための新しい法人の設立を検討し、首都圏等で活躍する神戸ゆかりの経営者等とも連携しスタートアップ支援を強化していく施策のひとつです。昨年質疑した神戸独自の神戸経済成長させるための施策のひとつが進みます。

ご挨拶

最後までお読みいただきましてありがとうございます。また市政へのご理解ご協力に感謝申し上げます。日頃から兵庫区内を回り、皆様からいただきましたご意見やご要望は市当局へ直接申入れ、お答えして参りました。また、議会では、会派を代表して、市長をはじめ、市当局に質疑を通じて市政に反映するように求めてきました。今後とも多くの皆様からのご意見、ご要望、また諸課題をしっかりと受け止め、皆様からのご付託にお応えするよう努力を続けて参ります。今回は、令和7年第1回定例会市会を中心にご報告させていただきました。

山下てんせい

令和 7 年 3 月発行

市政に関するご意見はスマホカメラで
QRコードを読み取っていただくと簡単です
メールフォームに直接つながります→



山下てんせい

検索

自由民主党神戸市議員団 市政報告 vol.22

地域協働の取り組みについて

定例会一般質問（令和 6 年 5 月）

山下 対面によるやりとりの減少や、地域の担い手の固定化・高齢化は解決していかなければならない課題です。しかしコロナ禍を経て行政と市民のふれあいの機会が減少し、また猛暑の影響等で地域の夏祭りや行事も完全には再開されていません。地域協働局、区の地域協働課はこの状況をどのようにとらえ、今後の施策を展開しようとしているのですか？



▲一般質問をする山下議員

久元市長 地域で行われていた交流事業については、対面による活動が基本であったが、コロナ禍による影響は大きいものがあつた。このことを踏まえ、令和 5 年から地域コーディネーターにより、地域の多様な人々や団体ときめ細やかにつなげる体制を整えていく。

また西区や北区の出張所には、地域活性化担当の係長を順次配置し（市長は「若手の係長」と言っておりました）、機動的かつ積極的な地域協働の施策を展開してまいりたい。

その後、関連し「地域活動の参加促進に関し、区役所を中心とした取り組みについて」「郷土の祭りや盆踊りのような無形文化の継承について」質問しました。

山下 地域活性化や担い手の確保、若い世代への文化の継承を進めていくうえで、学校を活用していくという視点も大切と考えます。例えば各小学校の行事において郷土の盆踊りなどについて学び、披露する機会をもってはいかがでしょうか？もちろん教員の負担軽減の観点から、準備や運営についてより多くの保護者の皆様に参画いただく取り組みや工夫は必要と考えますがいかがでしょうか？



福本教育長 現状においては、今までのように学校が地域に出ていくことや、教員が休日に参加するといったことは難しくなっている。そこで、学校運営委員会をもう少し活性化させ、地域のほうから学校にもっと入ってきてもらったらいいの

ではないかと私は思っている。頭からお祭りや郷土の文化ありきではなく、日ごろから地域の方が学校の様々な課題について情報共有し、学習や教育と同じ目線で議論して、地域の課題や価値観についても共有することができないか、そのための舞台が学校でも構わないような気がする。

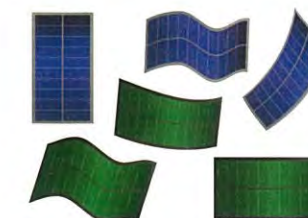


Point! この意見は賛否両論あると思います。現にこの後私のほうに「それは西区の事情じゃないか」といった反対のお声もいただきました。しかし、学校園に地域が入っていくという教育長の考え方には柔軟さを感じ、関係があるかどうかはわかりませんが KOBE◆KATSU の考え方にも通じているように思います。なおこのあと、神戸市婦人団体協議会の協力のもと、伝承の踊りを学ぶことで地域への誇りと愛情を深めてもらおうと、長田区の丸山ひばり小学校と、西区の春日台小学校にて「民謡」の授業が行われたとの記事（婦人神戸 令和 7 年 3 月 15 日号）がありました。



その他、

- ・特に西神ニュータウンが抱える課題（駐車場不足）について
- ・映像によるシティプロモーションについて
- ・ペロブスカイト太陽電池の社会実装促進について
- ・熱中症対策について 質問しました。



▲委員長報告、要望書を手交する山下議員

予算代表質問

(令和 7 年 2 月 25 日)

県民緑税の神戸市への還元について

山下 神戸市民や市内事業者が納める県民緑税は兵庫県全体の 3 割を超えているが、還元割合は 2 割程度です。神戸市が進める森林・里山の再生による新たな都市ブランド創出にこそ、県民緑税が活用されるべきと考えますが、**県に対して、還元割合を高めるよう強く要望するべきではないでしょうか？**



今西副市長 県民緑税の導入当初は、人工林の少ない本市には合わず使えない面があったが、のちに都市山防災林整備事業が創設され、六甲山系の広葉樹林整備が可能となった。全体事業費の増額や対象エリアの拡大、本市の都市緑化事業への支援を県に働きかけており、本市への還元割合が高まるように引き続き積極的に要望していく。

Point! 「県民緑税」とは、兵庫県の緑の保全・再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みとして、平成 18 年から県民および法人に課されております。この制度はかねてより、都市部への割り戻しが少なくなってしまうという課題がありましたが、六甲山や里山を抱える神戸市としては、県民緑税をもっと活用したいところです。神戸市と県は 5 年に一回、次期事業期間についての協議をいたしますが、今まさにその時期となっております。そこで神戸市選出の長瀬県議員（東灘区選出）と連携し、今回質疑いたしました。

米不足問題への対策について

山下 今年度はスーパーをはじめ、小売店でのコメが品薄状態となり、ひいては価格高騰へとつながって、家計を苦しめる要因となっております。国は、コメの品薄は流通に滞りが生じていることが原因として備蓄米の放出を決めましたが、神戸市としては全国的なコメ不足や価格高騰が、**市民や市内農家へとどのような影響を与えていると認識されていますか？**

今西副市長 神戸市の米の生産量は全国同様平年並みで、生産量が大きく減少している状況ではない。一方販売面では、店頭の商品感は落ち着いてきたものの、市内直売所での販売価格は全国同様に 1.9 倍となるなど市民生活に影響を与えていると認識をしている。一方で農家への影響については、J A の出荷価格が上昇するなど、生産コストの観点からいって前向きに進んでいる状況にあると考えている。農業資材等の価格の高騰が継続していることから、**市内の米生産農家が持続的・安定的に経営が行えるよう、必要な支援を継続していきたいと考えている。**あわせて米の流通動向や価格変動について、国が実施する備蓄米の放出の影響等も併せ、引き続き注視していきたい。



▲予算委員会において代表質問する山下議員

有機フッ素化合物対策について

山下 健康問題が指摘されている有機フッ素化合物（いわゆる PFAS）に関し、本年 2 月 10 日に、久元市長と丸谷明石市長が環境省を訪問し、規制基準の設定や自治体が取り組む対策への財政支援などを要望頂いたことは大いに評価しています。

来年度から水道水における水質基準や、基準値を超えた場合の改善が、法律で義務付けられることとなりますが、一方で事業所等からの排水水や農業用水、農地土壌における基準は依然として明確になっていません。すでに風評被害等の実害が出始めており、神戸市としてもこういった不安を取り除くべく、**全力で有機フッ素化合物対策に取り組むべきと考えますがいかがでしょうか？**

今西副市長 神戸市では、公共用水域の暫定目標値が設定された 2020 年度以降、国の手引に従い、明石水系の水質調査地点を増やし、状況の把握を進めている。また、現時点では事業場等からの排水水の基準等が定められていない中だが、産業廃棄物最終処分場をはじめ、流域の事業所に自主的

神戸市の水源別給水区域図（概略図）

- 阪神水道（水源：琵琶湖・淀川）… 阪神水道企業団から受水した、琵琶湖・淀川を水源とする水
- 千苺浄水場（水源：千苺貯水池）
- 県営水道_神出浄水場（水源：香吐ダム）
- 県営水道_三田浄水場（水源：青野ダム）



PFAS：PFOS や PFOA を含む、化学物質のグループの総称。永遠の化学物質と言われる自然環境で分解されにくい。

※PFOS：防水や防汚効果のあるコーティング剤として使われてきた物質。例えば、衣類やカーペット、食品包装など
※PFOA：PFOS と似た性質を持つ物質で、特にテフロンなどの非粘着コーティングの製造過程で使用。

な検査や対策などの協力を求めるなど、できることは行っている。

また PFAS について国の調査研究によると、国内で PFOS（※）や PFOA（※）の摂取が原因の健康被害が発生したという事実は確認されておらず、一日摂取量を体重 1 kg あたり 20 ナノグラム、同じく水道水についても 1 リットルあたり 50 ナノグラムという基準を、水質基準として適用する方針も示されたところである。

先日の環境省への要望でも、中田環境副大臣より、**国民の不安払拭につながるリスクコミュニケーションなどにしっかり取り組んでいきたいとの発言があり、神戸市としても、これまで実施してきた取組に加え、風評被害に十分注意しながら、国と共に正確な情報を市民に分かりやすい形で発信し、不安払拭に努めてまいりたい。**

その他、

- ・森林関係施策の推進について
- ・持続可能な農業基盤の構築と農家支援について
- ・下水道管の維持管理について 質問しました



【令和6年度主な諸役】

- ・神戸市会 議長
- ・全国市議会議長会 会長
- ・日台友好神戸市会議員連盟 会長
- ・観光交流都市推進神戸市会議員連盟 会長
- ・神戸市会保育を考える会 会長 等



ごあいさつ

春色の候、時下益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

平素は神戸市会議員 坊やすながに対しまして格別のご厚情を賜り心から御礼申し上げます。

令和5年5月に2度目の神戸市会議長に、6月には第65代全国市議会議長会会長に選出され、およそ2年が経ちいよいよその任期も終盤となりました。

この間、全国市議会議長会会長として地方議会の将来に関わる活動を、神戸市会議長として震災から30年を迎え久元市長と共に神戸の未来を創造する為に、その役割を果たして参りました。

この際、北区民の皆さまに活動報告の配布をさせていただきます。是非ご一読いただきたく存じます。

引き続き神戸市会議員として誠心誠意働いて参る所存でございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

～心から感謝を込めて～

令和7年3月吉日

やすなが

第65代全国市議会議長会会長
神戸市会議長

坊 恭寿

パブリックコメントによる市民のニーズを反映した
新北文化センター・新北図書館！



完成：2027年9月頃予定

北区文化センター、北図書館の老朽化、バリアフリーの問題を踏まえ、隣にある旧北区役所跡地に北区文化センター、北図書館の機能移転を提案。北区役所跡を新築複合施設として再整備し、北区文化センター、北図書館が移転します。

旧北区役所跡地の活用方針案へのパブリックコメント

- ・体育室の騒音・振動に配慮し、図書館施設への対策を講じてほしい
- ・高低差を考慮した建物配置や誘導路になるよう設計してほしい
- ・競技室や体育室などの部屋数を増やしてほしい
- ・駐車スペースを広く確保してほしい
- ・施設を安価で利用できるようにしてほしい
- ・閲覧スペースなど十分確保してほしい
- ・子どもから高齢者まで優しいバリアフリーに配慮してほしい
- ・蔵書数を増やしてほしい

地域の皆さんと岡場駅前再整備のワークショップを重ね
岡場駅前広場 2026年度リニューアル完了予定



駅からバスやタクシー、身障者乗降場までの乗換え動線には連続屋根を整備し、雨に濡れず移動可能に。舗装・ベンチ・植栽・照明などを設置。



周辺施設へのバリアフリー動線を改善し、歩道橋にエレベーターを新設。

地方六団体の代表者として

「国と地方の協議の場」にて提言



全国市議会議長会会長として、石破内閣総理大臣、林内閣官房長官、村上総務大臣、伊東内閣府特命担当大臣（地方創生）、斎藤財務副大臣、鈴木法務大臣、福岡厚生労働大臣、三原内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画）、滝波農林水産副大臣と、「令和7年度予算編成及び地方財政対策」について協議しました。（2024.12.17）

阪神・淡路大震災から30年 ご支援への感謝を忘れない！

能登半島地震支援で義援金目録を贈呈

全国市議会議長会会長は、北信越市議会議長会と共同で全国の市議会に呼びかけた「令和6年能登半島地震義援金」を、被災地である石川、富山両県市議会議長会に贈った。

石川、富山両県に義援金贈る

全国市議会議長会 能登地震支援で



坊基寿全国市議会議長会会長（神戸市議会議長）が8日、金沢市役所庁舎内において、石川の高誠会長（金沢市議会議長）、富山の金厚有豊会長（北信越市議会議長会会長・富山市議会議長）に義援金目録を手渡した。懇談のなかで、坊会長

は「1億円を超える額の義援金は日本の市議会議員の底力だ。被災地の復興に役立ていただきたい」と語り、高会長は多額の寄付にお礼を述べるとともに、「オール石川で復興、復興を進めていく」と話した。寄付金は8日時点で全国485市議会から1億800万円余が集まり、今回は5000万円を第1次配分として、石川に4275万5000円、富山に171万円をそれぞれ送金する。なお、坊会長らは9日、珠洲、輪島、七尾の各市議会を順に訪ね、被災地視察も行った。

北陸工業新聞社 2024年03月12日

会社員が立候補しやすい環境の整備へ

地方議員のなり手不足の解消に寄与



中国市議会議長会 定期総会
北信越市議会議長会 意見交換会
九州市議会議長会 定期総会
関東市議会議長会 意見交換会
四国市議会議長会 定期総会
全国市議会議長会 正副会長会議
群馬県市議会議長会 臨時総会
秋田県市議会議長会 定例会
東京都市議会議長会 定例総会
近畿、東海、東北市議会議長会の定期総会
全国市議会議長会 指定都市協議会第34回総会 浜松
第19回全国市議会議長会 研究フォーラム 岩手
千葉県市議会議長会 定例会
全国民間空港所在都市議会協議会 第106回臨時総会
全国市議会議長会「高速自動車道協議会」
滋賀県市議会議長会・議長会議の意見交換会
議会三団体会長高岡市（富山県）
京都市議会議長会・静岡県市議会議長会
議会三団体会長 会長会議（北海道）など30か所以上

皆さまにより良い政治を行う為に！



令和6年度第1回 国と地方の協議の場 2024年5月29日
令和6年度第2回 国と地方の協議の場 2024年11月27日
令和6年度第3回 国と地方の協議の場 2024年12月17日

① 地方創生の推進

地方創生のため、充実と実効性のある東京一極集中の対策を検討。

② 地方議会の活性化

主権者教育の推進と、地方議会議員の厚生年金加入を提案しました。

③ 地方財源の強化

地方創生やデジタル化、防災・減災といった重要課題に対応できるよう、地方財政の支出を確保し、地方税や交付税の増額を求めました。

国の施策への提案

久元市長と総務省に要請活動



指定都市市長会会長である久元市長と共に、指定都市を代表し、馬場総務副大臣に対し、「令和7年度国の施策及び予算に関する提案」について要請活動を行いました。（2024.7.18）

馬場総務副大臣と久元市長

全国市議会議長会会長として

「厚生年金への地方議会議員の加入」に関する要望



富樫 総務副大臣（2024.12.6）



森山 自民党幹事長（2024.12.6）



小野寺 自民党政務調査会長（2024.12.6）



島尻 自民党総務部会長（2024.12.6）

- ・三議長会会長による自民党三役への要望活動（2024.6.5）
- ・全国市議会議長会 正副会長による要望活動（2024.7.3）
- ・全国市議会議長会 正副会長による要望活動（2024.11.21）
- ・第29回「国と地方の協議の場等に関する特別委員会」（2024.11.22）
- ・地方創生に関する地方六団体（2024.12.6）
- ・議会三団体会長による要望 総務副大臣、自民党（2024.12.6）
- ・議会三団体会長による要望 自民党、公明（2024.12.18）
- ・議会三団体会長による要望 国民、立憲（2025.1.10）
- ・議会三団体会長による要望 立憲、維新（2025.2.6） など

若者が政治や選挙を学び、社会に参加する力を育む

主権者教育を神戸甲北高等学校で実施



明るい神戸の
未来に期待!

兵庫県立神戸甲北高校で主権者教育を実施し、坊やすながを含む 15 名の議員が参加しました。

生徒たちは、阪神・淡路大震災からの神戸市の歩みや自然災害対策について発表し、議員と意見を交わしました。また、「子育て・教育」「観光」「防災」「経済」「福祉」「まちづくり」の 6 つのテーマについて代表議員が具体的な施策を紹介し、生徒と意見交換を行い、さらに生徒たちは神戸の未来を考え、これらの政策の優先順位を議論しました。議員も各教室のグループディスカッションに参加し、活発な意見交換が行われました。(2024.12.11)

様々な専門分野のご意見やご要望等を頂く

神戸を支える各種団体との交流

各種団体、企業の大会や集会に参加し、市政へ反映できるように鋭意取り組んでおります。



中央市民病院開設 100 周年記念式典・記念講演会 (2024.7.14) 神戸商工会議所からの要望 (2024.9.25)



- ・神戸市民間病院協会・神戸市第二次救急病院協議会 定時総会懇親会 (2024.5.30)
- ・第 74 回神戸市商店街連合会 通常総会懇親会 (2024.6.25)
- ・神戸市小売市場連合会 第 76 回定時総会 (2024.6.27)
- ・神戸市社会福祉大会 (2024.9.3)・神戸市老人クラブ大会 (2024.9.3)
- ・神戸市婦人市政懇談会全市総括集会 (2024.12.24)
- ・兵庫県県道整備府会、協同組合、連盟の新年祝賀会 (2025.1.11)
- ・近畿非破壊検査連合会新年祝賀会 (2025.1.15) など 【19 団体以上】

国際的な信頼関係の構築や経済・文化の発展

外国賓客・外国公館等との交流

外国の方々との交流は、お互いの文化を尊重しながら学び合い、自国を見つめ直す機会になります。



シンガポール・シティ青年会議所



駐日オーストラリア特命全権大使

- ・ドイツ連邦共和国・テューリンゲン州代表团 (2024.4.22)
- ・シアトル市ストーリーボール贈呈式典 / 訪問団歓迎レセプション (2024.4.23)
- ・全国都市会館にマニラ首都圏市議会議員連盟等の研修生をお迎え (2024.8.19)
- ・シンガポール・シティ青年会議所の市会表敬 (2024.8.30)
- ・大韓民国・慶州市訪問団の皆様を歓迎 (2025.1.16)
- ・駐日オーストラリア特命全権大使の表敬訪問 (2025.2.3) など

住民同士のつながりを深め、地域の活性化につながる

北区のイベント、式典にて地域の声に傾聴



北消防団 長尾支団 2 チーム 神戸市代表として 兵庫県消防操法大会出場 (2024.7.28)



八多保育園 創立70周年記念式典 (2024.9.27)



北区制 50 周年記念事業 (2024.2.22)

- ・北区制 50 周年記念事業北区の未来を語るつどい (2024.2.24)
- ・「はたっ子食堂」プレオープン (2024.3.16)
- ・第 48 回きたきたまつり (2024.6.1)
- ・北消防団長尾支団発隊式 (2024.6.8)
- ・TREK KOBE つくはらキャビン オープニングセレモニー (2024.6.9)
- ・八多保育園創立 70 周年記念式典 (2024.9.27)
- ・北消防団長尾支団選手団の解散式 (2024.10.26)
- ・北防災の賞表彰式 (2025.1.25) など

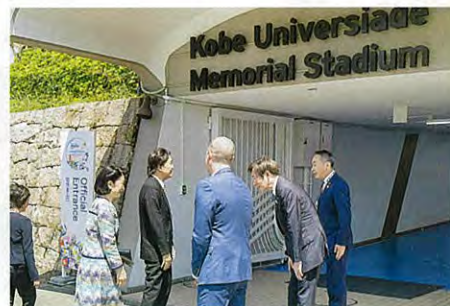
「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」を推進

スポーツ振興事業への取組

神戸市では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」取り組みを行っています。「するスポーツ」にはスポーツ施設の整備、様々な年代の方がスポーツに取り組める環境づくり、「みるスポーツ」には、市内に拠点を置くトップスポーツチームの試合観戦機会の提供などスポーツをみる環境の充実、「ささえるスポーツ」には、指導者やボランティアが活躍する機会の充実などによりスポーツをささえる人材の養成に取り組んでいます。



神戸2024世界パラ陸上大会 開会式 秋篠宮皇嗣殿下同妃両殿下お成り (2024.5.27)

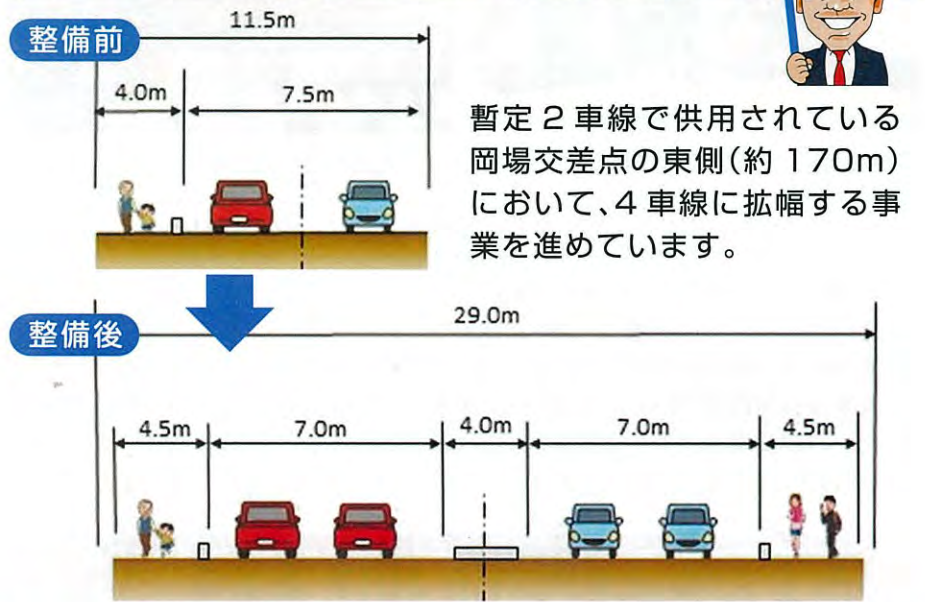


スポーツ優秀選手・団体表彰 表彰式 (2024.12.24)

スポーツ議連会長
として尽力中!

- ・INAC 神戸祝う会皇后杯優勝を祝う会・決起会 (2024.2.24)
- ・神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会 開会式 (2024.5.17)
- ・神戸弘陵学園高等学校女子硬式野球部 (2024.9.17)
- ・コベルコ神戸スティーラーズの皆様をお迎え (2024.12.2)
- ・ヴィッセル神戸の皆様をお迎え (2024.12.9)
- ・第 10 回リアルチャンピオンシップ大会 (2025.1.12) など 【15 以上】

大型車両や緊急車両の通行が円滑、両側歩道で歩行者の安全確保
岡場大橋 4 車線化工事着手



北区道場町 現道拡幅整備 (200m) により交通問題が解消
日下部交差点～日下部西交差点 拡幅の完了



ゆとりある幅員の確保により、緊急車両の走行や沿道の利用がスムーズになりました。さらに、日下部西交差点では南行き車線に右折レーンを設置し、交通の流れの改善に加えて、両側に歩道を整備することで、通学路の安全も確保されました。

三田市民病院の再編統合に向け
済生会兵庫県病院 新病院整備計画公表

済生会兵庫県病院と三田市民病院は、それぞれ小児・周産期医療と救急医療を担ってきましたが、高齢化や医師確保の課題、施設老朽化に直面しておりました。これに対処するため、両病院の再編統合が必要とされ、新しい病院は両病院の中間地点に設置されることが望ましいとされ、神戸市北区長尾町宅原にある民有地(農地)の取得を目指しております。

令和 4 年に済生会・三田市・神戸市の三者協議を経て、再編統合に向けた基本方針と構想が策定され、令和 7 年 2 月新病院整備にかかる基本計画が公表されました。計画では、新病院の診療機能や診療規模・体制、部門別の基本方針、医療機器や情報システムの整備計画、建設計画、整備スケジュールなどが盛り込まれ、2030 年に新病院開業に向け計画が進められていく予定です。

救急医療の強化	ICU・HCU・NICU など計 25 床を整備し、年間 14,000 件の救急患者を受け入れ可能に。
小児・周産期医療の充実	小児・周産期医療センターを設置し、ハイリスク妊婦や低出生体重児などへの高度医療を提供。
地域完結型医療の推進	心臓血管外科の新設、脳神経外科やがん診療の強化で、地域で治療が完結できる体制を構築。
感染症・災害対策の強化	全室個室化による徹底した感染対策、災害拠点病院としての備蓄・設備を整備。
医療従事者が働きやすい病院へ	診療機能と教育研修を充実させ、働きやすい環境を整備し、安定した医療提供を実現。



○病床数 425 床：集中治療室 (25 床) 一般病床 (400 床)
○想定する診療科目 (計 35 診療科)



神戸市北区長尾町宅原 予定地

お問い合わせ・あらゆるご相談は
 神戸市議員

坊やすなが まで

〒651-1301 神戸市北区藤原台北町 2-11-6
 TEL 078-983-1711 FAX 078-983-1719
 E-mail yasunaga.bo@gmail.com



自由民主党神戸市会議員団・無所属の会 神戸市会議員

うへはたのりひろ 神戸市政報告
に対する政策提言・市政相談はこちらまで▶



党派を超えて神戸市政に係る要望・提言!



- 1 政令指定都市の権限強化と特別市の速やかな法制化
- 2 平和に貢献する防衛産業の活性化と防衛装備の輸出促進
- 3 神戸港の保税工場を認め、輸入品の非関税を維持のまま加工製造する輸出体制の実現

◀高市早苗
国務大臣に要望

- 4 再エネ賦課金廃止とメガソーラー規制
- 5 原子力発電の活用と人材育成研究の促進
- 6 プラスチックごみのサーマルリサイクル推進
- 7 外国人生活保護の廃止 等

玉木雄一郎衆議院議員に要望▶



日米友好の強化へ! 神戸港の「非核神戸方式」が遂に終焉!

駐日米国武官 ダニエル・フィリオン海軍大佐と
今後の連携を確認▶

50年前に制定された神戸港の非核神戸方式が障害となり、神戸港には米軍艦船の入港がすることが出来ず、阪神淡路大震災時には米軍の支援も受けられず、日本国民たる神戸市民の人命よりもイデオロギーが優先された歴史があります。これに危機感を抱いた私上皇のりひろは5年前から議会で取り組み、①非核神戸方式は法的拘束力がないこと、②港湾法の違法な運用であること、③米国公文書をもとに核兵器の搭載もないことを確認し、国会でも内閣に確認を取って頂きました。また、米国総領事と連携し、港湾局に米国の立場を説明してきました。そして遂に非核証明書な



▲神戸港に入港した艦船ウォーリアにて艦長と意見交換

しに米軍掃海艇ウォーリアが50年ぶりに神戸港へ入港し、非核神戸方式は事実上の終了を迎えました。今後は大阪港と類似した手続きで運用されます。イデオロギーではなく、日本国民の生命と財産を守ることが最優先です。



自由民主党神戸市会議員団・無所属の会
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館28階

TEL. 078-322-5846
FAX. 078-330-0239

Email : uehata.kobe.japan@gmail.com

どのような些細なことででも結構です! ご意見やご相談は

神戸市会議員 **うへはたのりひろ** まで
お寄せください。



▲台湾総統である
頼清徳閣下に要請

神戸空港の国際化! 台湾線の就航が実現!

この台湾線の就航にあたっては、私達神戸市議員も積極的に取り組んで参りました。令和6年に台湾の総統就任式にご招待をいただき訪した際には、総統(大統領)である頼清徳閣下にお

会いして、神戸の誇る「だんじり祭り」をはじめとする神戸の魅力をPRするとともに、神戸空港の台湾線の就航に向けた協力を要請

いたしました。一方で、中国当局はこのような台湾との友好交流に対し、度々圧力を加えてきました。実際に、神戸市役所に対しても「議員を総統就任式に参列させるな」といった極めて無礼な文書を送付してきた事実があり、この件は国会でも取り上げられました。その結果、**日中共同声明には法的拘束力がない**ことが明確に確認され、中国側の主張は正当性を欠くものと認識されています。私は、日本と台湾の友好関係をさらに深めることこそが、神戸の未来に資するとの信念のもと、中国からの圧力には屈することなく、堂々と台湾を訪問し、**神戸市から唯一人、総統就任式に正式に参列**いたしました。今後も、神戸市から日本・台湾両国の連携強化に向け、揺るぎない覚悟で取り組んでまいります。

人工知能を活用した 神戸の未来の構築に向けて!



令和5年8月、台湾のオードリー・タン デジタル担当大臣と久元喜造神戸市長との会談に、私上畠のりひろも同席いたしました。さらに令和6年8月に来神されたオードリー・タン氏と再会し、会談が実現いたしました。この会談においては、人工知能(AI)と民主主義、AIを活用した今後の行政経営の在り方、フェイク情報への対抗等について意見交換を行い、継続的な連携体制の構築についても確認いたしました。あわせて、神戸市におけるAIの利活用の取組についてご協力を快諾いただいております。

オードリー・タン
元デジタル担当大臣と



強制的親子別姓制度 (夫婦別姓制度)に反対!



各地の弁護士会が組織的に全国で夫婦別姓実現を求める意見書の提出を求める趣旨の陳情を提出しています。夫婦別姓は強制的親子別姓です。神戸市会にも陳情は提出され、共産・立憲・公明が賛成し、私達自民党は反対で可否同数に。**私は総務財政委員長として委員長職権で陳情採択を阻止(反対)**、本会議では坊議長が議長採決で反対し、夫婦別姓制度の意見書を阻止しました。



▲総務財政委員長として
委員会報告実施



神戸空港の国際線が運航スタート

令和7年4月18日(金)より、神戸空港の国際線の運航が開始されます。
韓国・中国・台湾に航空会社4社が計5路線を開設して、
週40往復を運航します。



国際線の開設によりインバウンド観光の拡大が見込まれ観光業がさらなる成長を遂げると期待されています。また今回の国際化をきっかけに、国際航空貨物の取り扱いが実現すれば神戸市のさらなる貿易促進にも寄与できると考えております。

▼第2ターミナルビル (イメージ)

▼神戸空港全景 (イメージ)



▲展望デッキ (イメージ)

▲出発・到着ロビー (イメージ)

令和7年度予算を可決しました。

※一部要旨

TOPICS 1 神戸ならではの子育てが楽しめる環境づくり

拡充 児童館のさらなる活用

6.16億円



全児童館に常勤の「子育てチーフアドバイザー」を引き続き配置し、子育て相談に常時対応。また、新たにネイティブレベルの人材を派遣し英語学習や国際交流に触れる機会を提供する。

TOPICS 2 子育て世帯の経済的負担の軽減

拡充 高校生等の通学定期券補助

22.71億円

↓市内の高校等に通学する場合

2024年9月から、通学定期代を全額補助(無料化)

↓市外の高校等に通学する場合

2025年4月から、通学定期代を半額補助まで拡充

	年間の通学定期代
現在	144,000円
	←この半額が助成→
4月から	年間の通学定期代
	←この半額が助成→

TOPICS 3 地域とともに作る開かれた学校

新規 「KOBEDiamondKATSU」の推進(中学校部活動の地域移行)

6.145億円・別途2月補正8.73億円

少子化による活動種目減や価値観の多様化、教員の働き方改革など様々な理由で部活動の現状は以前と大きく変わっています。活動時間や日数も限られたものとなり、選択肢も少なくなっています。生徒がより自由に「やりたいこと」を選べるよう、2026年9月から「神戸の地域クラブ活動」＝「KOBEDiamondKATSU(コベカツ)」へ移行します。地域の様々な方々とともに、校区を超えて多様な活動に参加できる仕組みです。地域的、あるいは経済的な事情に関わらず子供たちが希望する活動ができるよう引き続き議論していきます。



自由民主党神戸市会議員団・無所属の会



灘 区

浅井 みか



tel.080-5818-4408 fax.078-322-5548
✉ asaimika.kobe@gmail.com



▲令和6年9月
予算特別委員会にて

猛暑下でも水泳授業数の確保へ 民間プール活用拡大実現!

【(浅井質疑に対する)部長答弁】本市の水泳授業において、よりよい教育環境の確保、教職員の負担軽減につながるように、現在の3校での取組はしっかりと継続し、他都市の取組状況も注視しながら課題を1つ1つ整理し、民間プールのさらなる活用について検討を進めてまいりたい。⇒検討の結果、一歩前進◎
【令和7年度、原田中学校のプール授業において民間プールの利用開始予定!】

北 区

副幹事長

五島 だいすけ



tel.078-322-5846 fax.078-322-5548
✉ mail@goto-daisuke.net



▲令和7年3月5日(水)
予算特別委員会 教育委員会審査にて

部活動地域移行 来年9月に期限を切るのは時期尚早

子供本位の地域移行ができているのか甚だ疑問、今年入学する子供に種目や場所・会費などが全く見えず、移行時に選んだ活動を継続できるか保証がない。引き続き指導した教員には地域移行後の参加を認め、指導に対する対価をしっかりと払うべきだ。移行期間を短く取る事については弊害しかない、準備できた活動から移行するようにするべきだ。

垂 水 区

幹事長

しらくに 高太郎



tel.078-704-6060 fax.078-709-5252
✉ info@shirakuni.net



▲令和7年2月19日(水)
教育こども委員会にて

部活動の教育的意義を継承し、 意欲ある教員は続けるべき

部活動の地域移行「コベカツ」については、現場視察もしながら、豊かな人間関係を築き、自己肯定感や責任感、連帯感の涵養に資するなど人間形成の場としての役割を果たした部活動の教育的意義を継承させ、子供たちの健やかな成長を願って、この問題には向き合っています。また、教員の勤務校外での活動という運用も、柔軟に対応するよう強く要請しています。

東 灘 区

副幹事長

うえはた のりひろ



tel.050-3573-1204 fax.078-330-0239
✉ uehata.kobe@gmail.com



▲総務財政委員長として
委員会報告

強制的親子別姓制度 (夫婦別姓)に反対!

各地の弁護士会が組織的に全国で夫婦別姓実現を求める意見書の提出を求める趣旨の陳情を提出しています。夫婦別姓は強制的親子別姓です。神戸市会にも陳情は提出され、共産・立憲・公明が賛成し、私達自民党は反対で可否同数に。私は総務財政委員長として委員長職権で陳情採択を阻止(反対)、本会議では坊議長が議長採決で反対し、夫婦別姓制度の意見書を阻止しました。

中 央 区

かわ なみ ただ かず
河南 忠和



tel.078-806-8633 fax.078-806-8653
✉ kobe.kawanami@gmail.com



▲令和7年2月27日(木)
第1分科会 行財政局にて

過去最大の市税収入なので、 神戸市独自の減税はできないのか?

【野崎局長】市税収入については行政サービスを提供する上で重要な財源です。一方、公平な税制により安定的に確保する必要があるという認識をしています。減税政策については納税者の納得感を高めることの重要性は理解をしていますが、市独自に減免等を行うということにつきましては、単年度での市税収入のみで判断するのは非常に難しいという認識です。

北 区

政調会長

うえなか 雅子



tel.078-583-8060 fax.078-583-4696
✉ uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp



▲令和7年3月10日(月)
予算特別委員会 環境局審査にて

再生可能エネルギーの 今後について

市で進めようとしている、自然破壊とは無縁のパロブスカイト太陽電池の導入実証は、実証にとどまらず、再生可能エネルギー導入促進の切り札として、設置を早急に進めていただきたい。パロブスカイトによる営農型発電やメタネーション技術、水素プロジェクト等のあらゆる新技術を取り入れ、2050年カーボンニュートラル達成に向けて、積極的な取り組みを!

西 区

坊池 正



tel.078-965-0400
✉ bouike@nifty.com



▲令和6年9月27日(金)
決算特別委員会にて

児童館 全館で子育て相談ができる!

●児童館「子育てチーフアドバイザー」全館設置、子育て相談/0歳~18歳まで使える施設に! ●要介護者等でない方のリハビリジムを! ●心疾患/呼吸器疾患専門リハビリ病院とは!? ●能登半島地震を踏まえ大災害への備えは大丈夫か? ●災害時20万人/3日間を想定した備えは大丈夫!? ●自分・家族構成に合った備蓄を簡単チェック! ●「#7119」は病気やケガの症状を把握し適切な案内ができていますか?

東 灘 区

副政調会長

大野 陽平



tel.078-851-6996 fax.078-854-2300
✉ yoheiohno11@gmail.com



▲令和7年3月7日(金)
予算特別委員会 交通局審査にて

市バス路線を廃止する前に、 乗り支えに繋がる取り組みを！

独立採算が原則のバス事業者の事情はあるものの、突如廃止を表明されると利用者は大変困惑します。コープこうべが行っている買い支えに繋がる取組を参考に、廃止する前に乗って支えてもらえる取組を行うべきと質疑。局長からは廃止の6カ月程前に利用状況や存続に必要な基準をお知らせすること。地域の方に乗って支えてもらえるような進め方を検討すると答弁をいただきました。

灘 区

幹事・広報

吉田 健吾



tel.078-861-5566 fax.078-861-3456
✉ gogo@yoshidakengo.jp



▲令和7年3月7日(金)
予算特別委員会 危機管理室・消防局審査にて

地域住民による円滑な 避難所開設の初動対応について

令和4年に質疑した円滑な地域による避難所開設に対して、この度、避難所開設運営マニュアルの簡素化、開設手順シートの作成、開設キットの設置が実施されます。避難所鍵渡しもキーボックス対応になり、地域の負担軽減と防災力向上に期待しています。新しい手順シート等での訓練と、広く市民に避難所運営について理解してもらえるような対応も要望しています。

兵 庫 区

副政調会長

平野 たつじ



tel.078-531-8780 fax.078-531-5301
✉ th.tatsuji.hirano@gmail.com



▲令和7年3月6日(木)
予算特別委員会 経済観光局審査にて

生産・流通・消費連携で 中央卸売市場の集荷強化をすべきでは

【局長答弁】 経済観光局は、生産・流通・消費を一体化した政策を推進。市内小売店や宿泊施設等からは中央市場との継続取引や地産地消の要望、生産者や卸売業者からは輸送手段や生産者負担軽減が課題。そのため来年度は青果物の規格(サイズ・選別・色傷)の簡素化と定期トラック便の運行で生産拡大と市場物流強化を図る。安定した出荷先を確保し、地域生産の好循環を生み出すことを目指す。

北 区

全国市議会議長会会長 市会議長

坊 やすなが



tel.078-983-1711 fax.078-983-1719
✉ yasunaga.bo@gmail.com



▲令和6年12月11日(水)
兵庫県立神戸甲北高等学校における主権者教育の実践

将来の日本を担う子供達へ 主権者教育を全国的に実施へ！

地方議会の理解を深め、将来の地方議会を担う人材を育成するため、全国市議会議長会会長として、全国都道府県議会議長会会長並びに全国町村議会議長会会長に主権者教育を推進していくことを提案しました。子供たちに対する主権者教育の取組を地方議員自らが先頭に立って推進することを、三議長会が揃って決議し、全国規模でその取り組みをスタートさせました。

長 田 区

団長

平井 真千子



tel./fax.078-643-0647
✉ machiko.h@earth.ocn.ne.jp



▲令和7年3月6日(木)
経済観光局審査にて

観光で活気を呼び込み 文化の力で街を育てる施策を質疑

文化スポーツ局には青少年科学館のリニューアルについて、また地下鉄海岸線駅での作品展示による若手アーティスト支援などについて質疑。経済観光局には漁港や食文化を活用した長田区南部への観光誘客、須磨シーワールドの魅力向上、小売市場支援などについて質しました。神戸空港の国際化を契機に観光の強化が必要です。また、地域の宝である産業や商店街・小売市場の魅力、地域に根差したアーティストに光を当てたいと取り組んでいます。

須 磨 区

松本 しゅうじ



▲令和6年12月5日(木)
一般質問・本会議にて

都市公園条例の規制緩和による 青少年スポーツの育成を！

本市の都市公園条例に於いては車両乗り入れが禁止されており、運動前後にグラウンド整地を行う際トンボを使い人の手で整備する必要があり、雨が降った翌日などは大変な作業が生じている、この規制のため安全なスポーツ活動の妨げになり車両乗り入れを一律禁止するのではなく、緩和条件を設け条例改正をすべきと提案し結果、安全面での一定条件を設けて乗り入れる許可を実現した。

西 区

幹事・会計

山口 由美



tel./fax.078-777-6933
✉ yamaguchi@yumiguma.com



▲令和7年3月7日(金)
予算特別委員会 消防局審査にて

神戸に生まれた子どもの命を守る 新生児搬送について

県立こども病院が行っている重症児の新生児搬送は、神戸市の救急業務の負担を軽減しており、子どもの命を守るだけでなく、後遺症の軽減にも貢献していただいている。消防局としても、こども病院の搬送が維持できるように、明石市の事例を参考に協力を検討してほしい。

西 区

山下 てんせい



tel.080-5341-3710 fax.078-961-3849
✉ https://www.yamashita-tensei.com



▲令和7年2月27日(木)
予算特別委員会 建設局審査にて

共用下水道の維持管理について 質問しました

埼玉県八潮市において発生した下水道管破裂による道路陥没事故を受けて、下水道管の安全点検や日ごろの確認の重要性を実感します。自治会などでも一度、マンホールを開け、水がしっかり流れているかチェックしてみてください。もし何か問題があったら建設局にご相談を！私道共同排水設備の修繕工事にかかる補助金制度も、令和7年度から制定されました。



令和7年2月議会 3名代表質疑を行いました

※一部要旨



質疑者

かわ なみ ただ かず
河南 忠和



▲令和7年2月25日(火) 本会議 代表質疑にて

神戸空港国際化を踏まえた取り組みについて



4月からの神戸空港の国際化に関して神戸を発展させていくためには全市一丸となり経済の活性化に取り組んでいかねばならない。どのような戦略を持って取り組んでいくのか？東南アジアのビジネス交流は非常に重要で、どのようなエアライン誘致戦略を進めていくのか？



【久元きぞう市長】ビジネス交流やインバウンド誘客を強化する。海外商談会の開催、市内企業の海外展開支援、シンガポール拠点設置などがある。観光分野では、多言語対応や手ぶら観光を推進し、MICE誘致や交通アクセスの整備も進める。国際定期便就航を見据え新産業育成や地元消費拡大を図る。また、航空路線の定着拡充、路線開拓が必要。インバウンドのみならず、神戸以西の新たな市場開拓、アウトバウンドの需要創出に取り組んでいく。

質疑者

山下 てんせい



▲令和7年2月25日(火) 本会議 代表質疑にて

オーガニックビレッジ宣言について



2024年10月に行ったオーガニックビレッジ宣言について、多くの市民や農業従事者への認知や正しい方針が伝わっていないという印象を受けた。そこで市としての思いや今後の方針、目標を伺う。



【久元きぞう市長】御指摘は全くそのとおりだと思う。宣言だけでも何の意味もなく、これに魂を入れないといけない。
【今西副市長】神戸市はこれまでも環境負荷低減の取り組みを行ってきた。令和5年にはJAや市内有機農業者と、KOBEオーガニック推進協議会を立ち上げ、有機農産物の生産、消費拡大に取り組んできた。こうべ再生リンや、市内産堆肥を使った地域資源循環型農業、また協議会の取り組みの成果を、オーガニックビレッジ宣言として公表した。今後はBE KOBE農産物の生産拡大や認知度の向上に努めたい。

質疑者

吉田 健吾



▲令和7年2月25日(火) 本会議 代表質疑にて

児童虐待死事案を二度と起こさないための対応策再構築について



令和5年度に西区で発生した児童虐待死事案の検証委員会の報告書が提出されたが、非常に厳しい内容であった。議会としても、「神戸市子どもを虐待から守る条例」を検証する必要がある。継続した虐待対応の状況把握、定期的な検証、その結果から改善することが必要である。また、第三者評価を受けて、対応の質を担保することや、虐待の連鎖を断ち切るために、加害者への聴取や、背景の把握などに努めていただきたい。



【久元きぞう市長】児童相談所、区役所だけではなく、庁内の幅広い関係部署で協議、対応していく必要がある。虐待対応状況に関する定期的な検証も有用で、検証結果が業務改善に繋がるよう努める。痛ましい事案が再び繰り返されないよう子どもの安全確保と権利擁護を最優先し、全力で取り組んでいく。

令和7年3月13日 木 総括質疑

※一部要旨

1＞ 新都市整備事業会計の総括

【平井】「新都市整備事業会計によって借金が残った」という誤った印象があるが、空港島の造成に係る企業債は、空港島の売却益を充当せずとも、新都市整備事業会計全体の利益で完済できたため、借金を残すどころか、将来に活用可能な67.9haの土地を資産として残すことができた。今後、土地活用によって生じる利益についても活用策を検討すべきと考えるがどうか。

【答弁】新都市整備事業会計の事業利益から一般会計に繰り出しを行い、復興事業などにも役割を果たしてきた。空港島の土地は需要にも柔軟に対応できるよう売却のみでなく賃貸借など柔軟に利活用を進める。

2＞ 神戸空港の国際化を踏まえた観光施策

【平井】国際化した神戸空港が通過点で終わることの無いよう、観光施策の強化が必要だ。神戸港ウィークエンド花火を毎週末開催することや、1000万ドルの夜景を海から楽しむための遊覧船の航行、新たな海上交通など検討するべきではないか。

【答弁】4月にはジーライオンアリーナの開業に合わせた花火、夏には週末花火の拡充なども検討している。10月の大みなと花火や12月のライトフェスティバル、ルミナリエやバレンタインライトアップなどで年間を通じ夜の賑わい創出事業も実施する。ウォーターフロントと淡路島などを結ぶ海上ツアーの造成、瀬戸内クルーズの更なる充実に取り組む。

3＞ ユニバーサルツーリズムの推進

【平井】年齢や障害の有無を問わず、誰もが観光を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」は全国に先駆けて神戸が始めた。「どこでも車いす」は貸し出し拠点の拡充が求められるが、民間法人だけで実施するには困難が生じており、市が積極的に関与していくべきではないか。

【答弁】民間企業や団体と連携し、神戸どこでも車椅子の利便性を高める方策について積極的に検討していきたい。

その他、●コベカツへの教員の参画と市民周知 ●学校行事における国歌斉唱・国旗掲揚 ●私立幼稚園における特別支援教育 ●森林保全の推進 ●防災庁拠点の誘致 ●印刷物発注における著作権の扱いについて質疑しました。



▲令和7年3月13日(木) 総括質疑にて

五島

だいすけ通信

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

神戸市会議員

2025年
予算号

ごあいさつ

暖かくなってきましたね、皆さまいかがお過ごしでしょうか、寒暖差がございますので、ご自愛くださいませ。

今号では、皆様の要望に従い、議会において活動してきた結果がどのように予算計上されているか。また、疑問の多い中学校部活動の地域移行がこども本位でなされるのか？という問題についての質疑、神戸空港および港湾物流都市神戸のこれから等を中心にご報告いたします、是非最後までお読みください。

重点予算要望項目

高校生通学定期割引 市外の高校へ通う学生に対する助成拡大

昨年、市内の通学費無償化を実現させましたが、市外の高校に通う学生については高額定期代の一部が助成される仕組みでした。これには、なぜそこに線を引くのか。市外への通学費についても助成して欲しいとの声があり、ある程度は県の仕事ではないのか？という考え方も超え、高額部分だけの助成ではなく、通学費の半額を助成する予算が実現しました。(ただし年間30万円の金額上限あり)

夏休み等長期休暇のみの 学童保育導入へ

かねてから要望してきた長期休暇の学童保育ですが、昨年一部(目標50か所)実現したところ、実際導入できたのは20か所のみでした。今年度も拡大を要望し今年こそは50か所を達成するという目標が立てられました。また、学童保育運営者として人材不足、待遇改善が急務であるため、これについても要望・予算獲得しております。

中学校給食の全員喫食 暖かい給食を中学生にも

来年、令和8年1月より北区においても給食が始まり、全市で現在の評価が高くないランチボックス給食からセンター方式への転換が行われます。ランチボックス形式での給食で異物混入事件が多発したときから、「これを機に全員喫食のセンター方式への転換を！」と訴えてまいりました。方針が決定してから給食センターの整備などに時間がかかりましたが、いよいよです。これまでお待たせしてしまったこどもたちには申し訳なく思います、申し訳ありませんでした。⇒この中学校給食の量の問題について予算特別委員会で質疑しておりますので、そちらの記事もご覧ください。



官民連携こうべファンドの組成

以前より、人口減少への対策として働く場を作ることの重要性を訴えてきました。



平成26年に始まった500スタートアップについては、毎年1億円を超える予算を計上したにも関わらず、単なるスタートアップイベントを開催していただけで、市内での雇用増加は30名にも満たない結果でした。これに約5億円も使ってしまったため、「やめてしまえ！」と廃止を訴え、実際廃止されました。

次に始まった兵庫神戸スタートアップファンドについては、神戸市と兵庫県と企業団が出資するファンドに市民の税から1億円を出すというものでした。前回の失敗があったため、兵庫神戸に雇用を産むものにしなければならないと強く指摘してきましたが、結果として2024年時点で出資した19社のうち兵庫県内に本店または支店があるものが3社のみ、神戸市に店舗があるか何らかの関わり??があると市が主張する先が9社、それ以外は全く兵庫県と何の関係もない出資先でした。

民間企業も関わっているため、リターンを求める関係から出資先は投資効果に魅力があるものを選定したくなるのは分かりますが、県民市民の税を投入するファンドが県すら全く関係ない先に出資してしまう事に対しては市民県民への裏切りであると強く指弾しました。

結果として、この新年度予算に神戸市は新たなファンドを形成するとしておりますが、投資先や運用主体など中のルールが未定となっております。

今度こそ市内に本店があるか、市内に本店を移転させる事業者にのみ出資先を限定すべきと強く指摘しております。



部活動の地域移行について

コベカツと名乗り部活動を地域へ移行しようとしている神戸市、以前の市政報告でも記載させて頂きましたが、これが**本当にこども本位の変革なのか甚だ疑問**です。

多くの不安・不満の声を代弁し教育委員会に対して、予算特別委員会の中で質疑しました。

少々長いですが、緑字部分だけでもぜひお読みください！

五島 今年入学する子供たちにとって活動の種目や場所、会費など「コベカツ」の内容が全く見えておらず、令和8年9月時点で現在と同等の活動ができるのかという保障は全くない。途中で路頭に迷う可能性もあるような宙ぶらりんの状態で進めていくのはいいのか？ 既に影響が出始めていて、この春、4月に入学する子供たち、自分の進学する中学校に「コベカツ」があるのかないのか？ 自分のやりたい種目あるのか、ないのかさっぱり分からないので、既に今ある民間のクラブに行こうという子供たちが増えている。

例年より民間クラブ側で面倒を見れる子供を超えた子供たちが入ってきていて、もうかなり混乱した状態であるとも聞いています。

正直に申し上げて、これは移行期間を短く取ってしまったことの弊害です。令和8年9月の全面移行は時期尚早であると考えています。

一般的に一つの部活を廃部するだけで、2～3年かけて丁寧にやっていくのに、これだけ**大きな神戸市全体の部活動地域移行というシステムの変更を短時間でやってしまうというのは、拙速だ**と考えます。

生徒・保護者の不安感の払拭、活動の継続性の観点から現在の部活動をきっちり引き継げる状態が整った活動から順次移行させるなど、もっと時間をかけて丁寧に取り組んでいく必要がないのか伺います。

教育長 そもそも部活動は様々な課題を抱えており、現状、以前のような条件下で活動することは難しくなっている、実質的な入部率も低下し続けている。毎年のように休部や廃部を繰り返さざるを得ないというのが現状。

このまま放置すれば結果的に混乱が長引くだけで、子供たちの活動場所を確保する意味でも、思い切って「コベカツ」への移行ということを考えさせていただいた。

このたび、第一次募集を実施し600を超える応募をいただいた。当然、数的にも地域的な偏りの点でも、まだまだこれからでございますが、二次、三次と募集を続けていく。この過程において、現在ある種目、各校にある種目については、在籍校並びに近隣校を含めた範囲内で取り組むことができるような調整を目指したいと考えている。

県下においても、阪神間を中心に多くの自治体が令和8年を目標に現在移行を進めており、神戸市も歩調を合わせていきたいと考えている。

五島 令和8年度に阪神間で地域移行を始める自治体があるから、これに歩調を合わせるという話をされたが、神戸市が打ち出したからほかが歩調を合わせている。

先ほど在籍校、近隣校で今までの活動が継続できるようにということをおっしゃったが、この春入学する子供が入学する前の段階から分かっていないから、みんな不安になっているわけじゃないですか。最低1年は早い。何があるか分からないから、先に民間クラブ入ってしまったとか、新入生が民間クラブに行ってしまったから、後輩ができない、チームが存続できないとかいうことも発生してくるわけです。



進め方が早すぎる!!

そういうことが起こってしまったら、親が子供に「ごめんね」って思うてしまうこともある。子供が「僕、何したらいいのか分からんわ」となってしまったら、これはもう駄目なことだと思う。

将来の子供たちのために移行を急がなくてはならないんだっていう話をされますけども、「移行期間だからごめんなさい」というような話があってはいけないんです。子供たちのために機会を増やすという話なので、**子供たちが100人いたら100人が何らかの選択をちゃんとできるような状態というのを保障してあげることがない限りは、無理して進めていくのは間違っている**と思います。

この移行期間のガチャ、**「コベカツ」ガチャが起こらないように**しなければならないということを強く言っておきます。



在籍校、近隣校でこの春入った子供たちが活動を継続できるように工夫したいとおっしゃるが、できなかったらどうしますか「コベカツ」として手が挙がらなかったらどうされるか。

教育長 それがないように今工夫している。子供たちが今何を望んでいるかというようなことも随時アンケートをしていかなきゃいけないと思っており、やはり丁寧に各自確認をしていきたいと、そのように考えます。

五島 教員への働きかけについて、在籍校、近隣校で活動がなかった場合は教員にごめんなさい、やってくださいというところまでお願いをするのか。

教育長 その学校の中でないから引き続きお願いしますというイメージではない。参加してもいいという教員について、一次募集、二次募集、三次募集やっていく中で、この辺が薄いけれども、こういう形で参加してくれるかなとか、そういう呼びかけをしていこうと思っている。

五島 **給与と面の話だが、教員としての給与とは別で、「コベカツ」指導に対してしっかり給与を払うべきだ**という話をしてくております。

最初は教育長、もう無償でボランティアでやってくれという話だった。次の段階では有償ボランティアで取り組んでいただきたいという話をされた。最終ちゃんと手当を出すのか出さないのか。



教育長 教員がやるものも教員以外の方がやっていただくものについても、営利目的ではなく、必要経費という前提でやっていただくと、必要なものを集めていただくと、そういう意味で一番初めに私がボランティアという言葉を使わせていただいたんですけども、そういう形でやっていこうと思っている。

五島 だから、保護者が負担する分以外はないということですか。

教育長 例えば、活動に関して備品の整備であるとか、安価でやっていただくための環境整備の中に、現行の学校の施設とか備品を使っていただくということがあります。現在使っているような形の予算、例えば楽器の修理などを側面的にやりながら、費用がかからないようにしていきたいと考えている。

五島 違う、教育長、私が聞いているのは、**働きに対しての報酬があるのか**という話です、道具とか備品とかは聞いていないです。**報酬を出すのか出さないのかと聞いています。**

教育委員会事務局長 1つは保護者の方からお支払いをいただく月会費の中からそんなに高くない適切なレベルの報酬を得ていただくということになるうかと考えております。

五島 それは**最低賃金を超えるのか超えないのか、それとも最低賃金という感覚はないのか**、どっちなんですか。

教育委員会事務局長 雇用契約を結んでということになりますと、当然最低賃金以下で働いていただくことはできません、雇用者・被用者という関係ではないということであれば、最低賃金を下回る水準の有償ボランティアの謝礼ということもあり得る。

五島 今場合分けをして話された、ボランティアであればこうだ、雇用契約をすればこうだ、**つまり決まってない**というわけですね。

「コベカツ」を早くやりたいと言っているのは神戸市。国に対してもそういった人材の給与部分に関して手当てしてほしいと要望していくけれども、どうなるのか分からないですという事は、**結局出せるか出せんか分からんような状況**

教育を受けさせたい、日本中からそう思われるようにするために!!

で進めているということですね。

教育委員会事務局長 場合分けして申しましたのは、その両方のパターンがあり得るということで、例えば、地域の方が地域でやろうと、ボランティアベースで取り組もうという団体もあろうかと思ひますし、企業が参入をしていただくと、企業の社員さんが関わっていただくということであれば当然雇用ということでありまひすし、それは各クラブによって様々なやり方があり、我々としてこゝうでなければならぬというわけではない。

五島 決まてないことは分かりました。企業が入る、「コベカツ」は企業が雇てやるから、いい指導者が来ます、よかったですね。片やこちの中学校、こちの地域では、そういった手当がないので、いい指導者が来ない、持続性も確保できませんでしたとなれば、**これがガチャじゃないかっていう話**なんですよ。だから、**しっかり市長部局と連携をして、指導の予算を取ていくべきじゃないのか**と、熊本方式はどうなんですかって私が言うのは、熊本は、10億円確保しますっていうことを発表された。**指導に報酬をしっかりと出していきます**ということを発表した上でやているから、**ちゃんと出来そうだと思ひる**んですけど、**神戸市の今の方針を聞てると、ちゃんとできるのかどうか分かんけど頑張ります**という事。そんな状況で移行していいのかという話です。

神戸市が子供に対してどういふ教育方針を持てているのか、生まれて育てて、教育を受けてもらて、就職をするまで、1本のしっかりとした道筋、**こゝういふ神戸子を育てていきたいという絵が見てこない**。

これから人口減少社会で、都市間競争もしていかなくてはならぬ中で、**神戸市の教育、部活動の地域移行も含めてすばらしい方針を取り入れようとしているから、神戸に行て教育を受けさせたい、こゝういふ方針になてできないのか**、疑問を感じます。



教員の働き方なんですから、自校で、要は赴任校で指導を原則してはいけませんよという話を聞ています。教育長がバレーを一生懸命やていたと、指導もやていたという話の中で、同じように中学校、高校で、部活動を一生懸命頑張った子供がスポーツに関わりたいとか、文化に関わりたいということで、その**恩師の姿を思ひ浮かて教育課程に進んで、将来部活を見たいな、中学校で部活を見たいな、高校で部活を見たいな**ていう子供たちがいるわけじゃないですか。**こゝういふ子供たちの夢も潰してしまている**ような、今の方針の曖昧さなんですよ。

これは改めてちゃんと給与を出して、**子供たちのために教てあげたいこゝういふ教員の思ひを潰したらあかん**と思ひますけど、その辺どうでしょう。

教育長 我々が一般の先生と話す中에서도、教員にアンケートを取てみても、今の現状の部活動なら、なかなかやっぱ取り組むのは難しいというのは本当に圧倒的に多かったです。

そこで、安全・安心・安定という指摘が大事だとは思ひうんですが、こゝでやっぱ子供たちが本当にやりたい活動をやれるような環境にしなければならぬという思ひがあり、今回拙速という御指摘をいただきながらも全体として変ていかなければというところですよ。

五島 昔と違ひるのは分かります、だからこゝて**なぜ今から1年半後なのか、そこが本当に疑問で、もうちょっとちゃんと時間をかけてやたら、ちゃんとした仕組みができるんじゃないかと思ひ**わけです。**何でそんなスピードばかりを重視するのか**、本当にそれは子供のほうを向ててのこゝていうのが疑問だから、こんな話をさせていたててます。

時期を見直す、もしくは段階的に、例えば、8年9月に第一段階やりましようね、できなさそうなのは、その1年、2年後でもちゃんとやろうと、教員さんに協力をお願いしてやていこゝうという考えはないんでしょうか。

教育長 基本的には柔軟に本当に子供たちに迷惑をかけないでやるということが大前提でありますので、柔軟には対応していこゝうとは思ております。

ただ、神戸市全体をお願いをしてやている以上、一定の基本方針については、今までのような形でやていきたいなというふうに考てております。

五島 とにかく子供が、親が、路頭に迷わないように、やりたい先生にも機会をちゃんと与えるようにお願いしたいと強くお願いしておきます。(時間切れ)

過程の経済状況により、こどもに活動をあきらめさせてしまう事は許されぬ

地理的移動可能性もしっかりと検討した上で、活動の配置を決めなければならない

参加したい教員に指導の機会を与え、指導にはしっかりと報酬を与えるべき

移行を急ぐ事よりも、こども本位の地域移行がなされるべき
活動種別に状況が違ひため、画一的な対応はすべきではない、慎重に検討すべき

これら、引き続き強く要望してまいります、皆様にもご意見ご要望頂きたく思ひます!

中学校給食の量について

学校給食摂取基準により、小学校給食は低・中・高学年で基準量が増えていくが、**中学校給食は1～3年の基準量が同じ**。これが理由で、特に**高学年からおなかを満たされぬという声**あり、以下の質疑を行いました。



五島 過去にランチボックス形式給食で異物混入がありました。そのときから小学校並みの暖かさとおいしさを実現できるセンター方式による全員喫食を実現して欲しいと要望を続け、地域ごとに実現しています。時間はかかったものの実現した事は評価しています。

最近聞くるのは、**給食の量が足りないこゝういふ声**です、食材価格が上がているのはよく知ていますが、**給食くらいはおなか一杯にたべさせてあげたい**と思ひませんか?

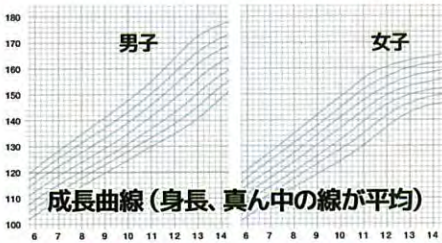
お聞きすると、中学生は1年でも3年でも量は均一で出すのがルールだというが、中学校1年生は小学校を卒業したばかり、ほぼ高校生のサイズである中学校3年生と比べると身長も体重も大きく違ひます。

弁当を持たせてきた頃は弁当の大きさは自由でした。ランチボックス方式のころはおにぎりなど補食を持たせる事も自由でした、カロリーメイトの自販機が置いてある学校もあります。**全員喫食になった瞬間に全員同じ量を強制され、補食を持たせる事を禁じるのはおかしくないか?**

6歳～7歳	8歳～9歳	10歳～11歳	12歳～14歳
560kcal	660kcal	770kcal	850kcal

児童又は生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準(文科省)

中学生がひとくくり!



成長著しく、男女の違ひはあれど成長スパートというこの時期に、十分な量の給食を食べさせたい。そのために**中学生は学年通して一律という基準を改めて欲しい、できないならせめて補食を持たせる事は許可すべきだ**。**成長期に十分な栄養を!!**

教育委員会事務局 いっぱい食べさせたいという親心は痛いほどわかる。全員喫食に伴い食育の強化してあり、健全な食生活の確保、望ましい食習慣の形成という意味で、適切な量・必要な栄養バランス・好き嫌いをやめようという事をやている。

基本的に先生からお代わりの声掛けをし、さらに進んだ学校では、学年間などで融通しあている。そんな対応をしながらアレルギー対応などはしっかりとやていきたい。

五島 だから量を増やす感覚がないという事なのか? **3年が沢山食べそうだから1年の教室から余てたら持てきてくれこゝういふ話……食べ始めてからそんな事をするのではなく、ITの時代なんだから最初から量を調整できるだろう**。



成長著しいこどもたちに、おなかいっぱい食べさせてあげたい! 神戸市独自でルールを作る事、せめて補食は持たせる許可を!

神戸空港・神戸港を中心とする港湾物流の未来について

神戸空港国際化について

神戸空港は、過去に関西国際空港を神戸沖に設置する案を神戸市が蹴ってしまったがために、国際空港化については現関西国際空港周辺都市などから良い目では見られていませんでした。ですがこの間のインバウンド旅行者増により、関西国際空港のキャパシティが不足してきており、また、災害時の代替機能の確保の観点から機能拡張が必要という機運が生まれ、この度の関西万博を契機に国際化の合意が得られたものです。

気運を活かすために、国際ターミナルの整備は急を要しました。関西万博に間に合わなければ神戸の国際化は不要であるとの議論があったため、この2025年の4月開港に間に合わせる必要があったのです。

急いだがために将来神戸空港が成長するための弊害になるような設計ミスがあってはなりませんが、やはり当初に出てきた案は「これは何だ??」というものでした。現国内ターミナルと新国際ターミナルが遠く、謎の緑地があり、ターミナル間をLRTで結ぶなど利便性を全く無視した計画が出てきたために、修正要望を重ね、いま建設されている計画へと変更されたという経緯があります。

完成したターミナルにも、現状ボーディングブリッジはなく、「沖どめ」というターミナルからバスで移動して飛行機に乗り込む方式になっています。(これについては急を要したのためのものであり、将来ボーディングブリッジを計画していますのでご容赦ください)

2025年からは国際チャーター便が発着可能、2030年からは国際定期便が発着可能となりました。そして、皆様もすでにご存じの通り、プログラムチャーターという方式でまるで定期便のように、台湾・韓国・中国など東アジア各国に行き来が出来る事になりました。

神戸空港国際化へ!



現状離発着時刻表

到着時刻	出発時刻	都市	運航日
10:00	11:00	ソウル (仁川)	毎日
10:00	11:00	台北 (桃園)	火・木・日
12:30	13:30	台中	月・金
15:00	16:00	南京	毎日
17:30	18:30	ソウル (仁川)	毎日
18:00	19:00	上海 (浦東)	毎日

現在の新国際ターミナルは、CIQ【※税関(Customs)、出入国管理(Immigration)、検疫(Quarantine)の頭文字をとった略語】や待合ラウンジの広さなどから一日に10便の離発着が限界であり、2030年の本格的な国際化へ向けて機能強化が必要になります。

2030年に向け、許容量の増加・ボーディングブリッジの整備などが必要になってきますが、昨今の物価高に伴う工事原価の高騰や、人手不足による工期の長期化の影響を避けるためにも、早急な計画～設計～予算確保～工事が必要になります。スピード感を持った動きをするように要望しております。

現状東アジアの国々のみが手を上げてくれている状況ですが、今後は東南アジアの国々にも売り込んでいくよう、要望しております。

2030年へさらなる神戸空港機能強化を!



神戸港を東アジアの物流ハブ港へ

神戸は兵庫津というみなと街を原点として発展してきました、かつて東洋一の港と呼ばれコンテナ取扱量も世界一になった年もありました。世界の工場機能の変遷・産業構造の転換などによりその地位は失われましたが、国際コンテナ中枢港湾としてこの国のサプライチェーンを支え続けています。

近年神戸港は、船社のM&Aやコンテナ船の大型化により、基幹航路に選ばれるかどうかという競争にさらされています。

基幹航路に神戸が引き続き選ばれるためには、神戸港を使った輸出入貨物量を維持拡大していく事が重要です。これにより、様々な産業が神戸を中心に立地し続けるとともに、物流関連産業が継続し、雇用が確保されるのです。

そのために、鉄道や内航船を使った西日本各地からの集荷などに引き続き力を入れるとともに、新たな技術を駆使した輸送効率化に国とともに取り組む事も必要です。

近年の自動運転を利用したトラック隊列輸送や、将来実現するであろう海上コンテナの高速道路網を利用した自動輸送には、道路が入り組んだ都市部ではなく、高速道路周辺の広大なインランドデポが必要になります。

(※インランドデポとは 貿易貨物の内陸輸送ルートの接続・集配地点に位置し、貨物の集配、保管等が行われる内陸部にある輸送基地のこと)



新技術を取り入れた実験都市としての街づくり

神戸港を持つ神戸市の西北地区には、名神・阪神・中国・近畿道が接続しており、自動運転技術を取り入れた物流機能を立地させる地理的優位性があります。

自動運転、AIやドローンなどを活用したプロジェクトの実験都市として、神戸市をあげて最先端の取り組みにチャレンジしていく事で、新たな産業を興そうとする事業が集まる都市になる～新たな雇用を拡大していく都市になる事ができるのです。このような新たな取り組みに継続的に挑戦していくよう、要望しています。

事業用地の不足対応

特に港湾地区で、それ以外でも事業用地が不足していて、新たな事業用地を確保したいという要望をよく聞きます。過去にこのような要望を受け、市街化地域内での容積率緩和や、市街化調整区域における物流団地開発などの規制緩和を実現してまいりました。

それでも不足が解消したわけではありません。

事業を拡大するケース、老朽化した事業所を移転建て替えるケース、海外から生産拠点を国内回帰させるケース、津波災害に対応して内陸部に事業移転するケースなど、様々なニーズがあります。神戸市郊外は都市部に近く、神戸港・空港を持つなど立地の優位性があります。また、港湾部分には早急に完成させるべきである六甲アイランド南地区埋め立て工事なども存在しますし、その他の新たな埋め立て計画もあります。

六甲アイランド南などは、橋をかける案がオーソドックスですが、陸続きにしよう案もあります。私は、用地が増え、そのコストが比較的安価で済む(護岸工事が2面で済むため)陸続き案を支持しています。

どちらにしても、事業用地を早く生み出し、市内事業の再構築が起こり雇用を増加させるために用地確保に引き続き取り組んでまいります。



神戸港将来構想 埋め立て版



神戸港将来構想 橋で接続版